

## 芝、営農規模拡大プラン

### ～生涯現役農業と地域活性化をめざして～

琴浦町 松本 友輝

はじめに

私の住んでいる琴浦町は山林に囲まれ、谷幅の狭い行き止まりで、上流約5kmの近くに農業用水ダムのある中間山地で、水稻、梨、芝等が栽培されている地域です。

私は平成20年に認定農業者となり、認定当時、水稻118a、芝91aの栽培をしていました。

集落の大半が零細な兼業農家（水田、梨園、芝畑、後継者は集落外の勤め）で、昔から集落的な営農を行わず、個々で自己の農地を耕作して来ましたが、年々高齢化が進み、又後継者不足により農作業が困難になる農家、離農する農家が増え、これらの耕作出来ない農地の管理を耕作者や農業委員会からの依頼が急増しています。

現在、水稻308a、芝219a、そば47aを栽培していますが、今後も増加する見込みであり、その事に対応出来る取り組みが緊急な課題となっております。

私は12月には認定農業者の再認定を受け、この様な農地を積極的に借りて一層の規模拡大を図っていくと共に、耕作放棄農地防止、又荒廃農地（梨園の廃園等）の再生等を行う生涯現役農業を実現したいと考えております。

今後は、芝800a程度まで規模拡大しながら、経営の安定を図りつつ、水稻については、農政の方向を見極めながら当面は現状を維持し、芝を中心に経営を行っていただける様に後継者の育成と収益向上を図ると共に集落民の労働力の活用を図り、集落の活性化につながる様に頑張っていきたいと考えております。

#### 1. プランの概要と目的

生涯現役農業にチャレンジするために以下の実現を図ります。

- 1) 耕作放棄農地防止及び荒廃農地（梨園の廃園等）の再生により規模拡大してきましたが、今後もこうした農地が年々増加傾向にあることから、芝219aから800aへ増反し、水稻は現状を維持する。
- 2) 規模拡大に合わせて高性能の機械導入により適期作業及び効率化を図る。
- 3) 良品の芝等の供給を行い、後継者の育成と収益向上を図ると共に、集落民の労働力の活用を図るため、拡大農地を含めた、芝畑の草刈り、草取り、芝出し作業等に高齢者、定年退職者を季節雇用し集落の活性化を目指す。

## 2. 現状（課題）と改善へ向けた取り組み

### 1) 現状（課題）

#### ①農地の課題

琴浦町 は、山林に囲まれ谷幅の狭い行き止まりで上流約5km附近に農業用水のある中山間地で、水稻、梨、芝等が栽培されており、水田は集落の南に4.0km、北1.3kmの長さに細長く広がり、畑は東西の山の上であり、その圃場は標準的なもの（30a）から小規模なもの（4a）までである地域です。

集落の大半が零細な兼業農家で昔から集落的な営農は行わず、個々で自己の水田、梨園、芝畑等を耕作して来ましたが、年々高齢化が進み、又後継者不足により農作業が困難な農家、離農する農家が年々増え、これらの耕作出来ない農地の管理について耕作者や農業委員会からの依頼が急増しており、今後も増加見込みです。

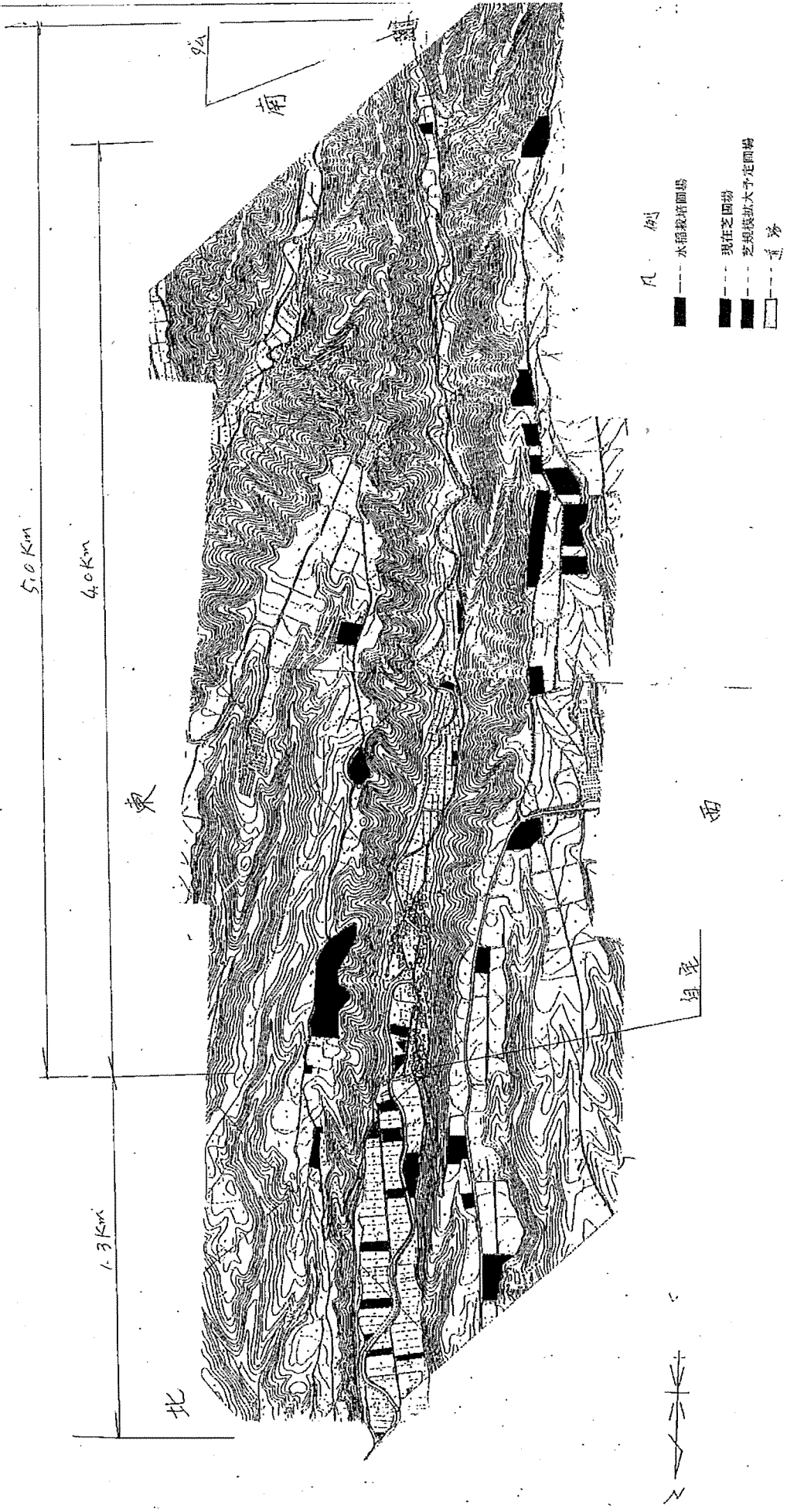
そのため私を中心となって規模拡大に対処出来る体制づくりが必要です。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
芝	91a	91a	169a	197a	219a	239a
水稻	118a	214a	214a	308a	308a	312a
その他	0	0	47a	47a	47a	55a
計	209a	305a	430a	552a	574a	606a

#### ②圃場の分散に伴う機械移動の課題

圃場が広範囲にあるため大型機械（トラクター、スーパー、運搬車等）は道路上を自走（片道15分～45分）しているため、非常に作業効率が悪く芝畑へは急勾配の道路を走らなくてはならず、自走では危険が伴い、又現有の機械では能力が低いことから目標とする面積を適期に作業することが出来ません。

水稻、芝圃場位置圖



### ③芝の課題

芝の栽培管理は特殊性があり、頭刈り作業とその芝カス処理を同日に行わなくてはなりません。特に6月～9月の間は週1回この作業を行うことが基本です。又出荷切り取り時は前日に連絡があり、それから殺菌、殺虫剤、除草剤等5種類の消毒を行い報告書の提出、切り出した芝は、その日中にトラック（10t車）の荷積が出来るところまで搬出し組合に数量報告することが義務づけられており、その対応作業の競合により切り出しが思う様に進まず苦慮しています。

そのため、規模拡大するには作業効率の高い機械を導入し、出荷作業等に対応できる生産体制をつくる必要があります。又、トラクターを自己資金で導入し、現在簡易手作業で行っている肥料散布、農薬散布、芝切り後の整地作業等の省力化を進める予定である。

芝管理年間作業表

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
頭刈り、カス処理		1回	2回	4回	4回	4回	4回	2回	1回
肥料散布		1回	2回	2回	2回	2回	2回	1回	
除草剤消毒	1回	1回		1回			1回		1回
殺菌殺虫剤消毒		1回	1回		1回		1回		1回
芝切り、芝出し		1回							
その他の管理		草取り	畦草刈り 草取り	畦草刈り	畦草刈り 草取り	畦草刈り 草取り	畦草刈り		畦草刈り 草取り

### ④水稲の課題

農政の大転換期にあり、その動向を見極める必要があるが、現在借り受けた水田については、責任をもって優良管理を行う。規模拡大については、今後2年程度を目やすに集落営農も含めた地域の水田の維持をめざしたい。

### ⑤後継者育成課題

引き受けた農地が荒廃農地ならないためには、今のうちにプランを立ち上げ経営を安定させると共に、私の農業を引き継ぐ後継者の育成が必要です。

参考：現在所有している機械

機 械 名	型 式	台 数	備 考
トラクター	GB200F	1	
モーター	LM80	1	
スィーパー	LS808D	1	
ロータリーモーター(乗用)	RM81A	1	
運搬車(3輪)	KG-104	1	
運搬車(4輪)	AC-1520B	1	
軽トラック	350kg	1	
田植機	4条植	1	14名共有

## 2) 取り組み内容と目標

### ① 地域への貢献

#### ア. 地域の労働力の活用

地域の労働力の活用については、会社をあと1～3年で退職予定者2名、農地の利用権設定者及び部分作業委託者6名の方に声かけを行っている。

#### イ. 労働力に対する賃金の提供

労働力を確保し賃金を支払うことにより所得が増大する。

#### 労働力

表-1

対 象 者	人 数
1年～3年後会社退職予定者	2名
～ 才	3名
～ 才	3名

#### 労働賃金

表-2

年 度	賃 金 (単位:千円)	雇用時間	単価(円)
平成 25 年度		69	1時間当り 円
平成 26 年度		333	
平成 27 年度		1,328	
平成 28 年度		2,598	

ウ. 農業の作業がない時期には山林作業も検討中。

### ② 農地への取り組み

#### ア. 栽培目標

高齢化及び後継者不足により農作業が困難になる農家、離農する農家、又耕作

放棄地防止及び荒廃農地(梨圃の廃圃等)の再生等の要望を受け、芝219aから800aへ規模拡大を図り、水稲は現状を維持する。

芝は10a当り労働時間が少なく雇用体系が整理されているため規模拡大をしやすい作物である。

### ③機械移動への取り組みと目標

#### ・安全性について

圃場が広範囲にあるため、大型機械(トラクター、スィーパー、運搬車)は道路上を自走している。特に芝は山の上に圃場があるため、急勾配で道幅の狭い所もあり、非常に危険が伴うため、キャリアカーでの移動が規模拡大に伴い特に必要不可欠となった。

#### 効率性

大型機作業 キャリアカーによる時間減少表

	現状 (219a)	目標 (800a)	備 考
移動時間	往復1時間30分	往復30分	

### ④芝の取り組みと目標

ア. 芝の規模拡大による所得向上を目指します。

芝の規模に合せ、モアー、スィーパーを導入し効率的な作業を行います。

芝の切り取り作業については切り取り結束したものをその日中にトラック(10t車)に荷積が出来るところまで搬出し、組合に数量を報告することが義務づけられており、その対応作業が競合等により思う様に進まず苦慮していますが、現状では軽トラックにて対応しているものをキャリアカーの活用で対応しようと考えています。なお当面は自走で移動させ規模拡大が本格化後にキャリアカーの導入を考えております。

イ. 地域プラン(芝)については共同利用が基本となっておりますが、私の集落支部での芝栽培面積は25a~122aと小規模であり、又現在各自でモアー、スィーパーを所有しているため、私の経営内容では地域プランの対象とならず農家プランで取り組むことにした。

ウ. 芝の単収向上

高性能の機械の導入により適期に作業を行うことで単収の向上を図る。

芝目標面積(栽培面積、育成中を含む)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備 考
芝	239a	400a	600a	800a	

キャリアカーによる芝出し作業効率化

	現状 (軽トラック)	目標 (キャリアカー)	備考
1日の芝切り出し	1, 360束	3, 200束	
(根 拠)	1日 7H×60分=420分 1回往復 50分 420分÷50分=8回 1回 85束×8台=680束 軽トラック 1日2台 680束×2台=1,360束	1日 7H×60分=420分 1回往復 1時間45分 420分÷105分=4回 1回 800束 800束×4台=3,200束	一圃場35a規模のものが多く、出荷量は約3,200束に相当、一圃場出荷した方が後の管理が効率的で、組合から3,200束の出荷の要請がきていたが、対応出来ていなかった。

⑤後継者の取り組みと目標

- ア. 引き受けた農地が荒廃農地にならないために経営を安定させると共に、私の農業を引き継ぐ後継者の育成(土、日曜日中心に機械の操作技術、栽培技術等引継ぐ)と、さきあげた常時雇用者をリーダーとして育成する。
- イ. 3年間で目標とする規模拡大及び所得を達成し、5年後には経営を安定させ後継者に継承する予定です。

労働力

区 分	現状 平成24年 (年間労働日数)		目標 平成28年 (年間労働日数)		年齢	備考
	季節	常用	季節	常用		
経営者	300日		290日			
妻	280日		270日			
後継者(兼業)	30日		50日			
雇 用	3人	0	6人	1人		
	65日		120日	250日		

取り組みと役割分担

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分担等
農地の集積	○	○	○	事業主体
農機具庫	○			事業主体
モア一導入 LM180C	◎			事業主体、県、町
スィーパー導入 LS960HD	◎			事業主体、県、町
キャリアカー導入(2t車)		◎		事業主体、県、町
トラクター導入 KB23			○	事業主体

◎は農業支援事業対象

機械導入計画

消費税含む(単位:千円)

機 種	導入年度	金 額	数 量	備 考
モアー LM180C	平成 26 年度	1, 3 8 6	1	
スィーパー LS950HD	平成 26 年度	2, 9 9 2	1	
キャリアカー 2t	平成 27 年度	5, 0 4 0	1	
計		9, 4 1 8		

事業費の内訳

消費税含む(単位:千円)

事業種目	事業費	内 訳			分担等
		県 費	町 費	事業主体	
モアー	1, 3 8 6	4 4 0	2 2 0	7 2 6	県: 1/3
スィーパー	2, 9 9 2	9 5 0	4 7 5	1, 5 6 7	町: 1/6
キャリアカー	5, 0 4 0	1, 6 0 0	8 0 0	2, 6 4 0	事業主体:
計	9, 4 1 8	2, 9 9 0	1, 4 9 5	4, 9 3 3	1/2+消費税

[参考] 事業主体の自力による導入機械

消費税含む(単位:千円)

機 種	導入年度	金 額	数 量	備 考
農機具庫 鉄骨平屋 120㎡	平成 25 年度	9, 6 0 0	1	
トラクター(芝用) KB23	平成 28 年度	2, 4 7 6	1	
計		1 2, 0 7 6		

[参考] 集落の荒廃地等の状況表

農 地	休耕地	荒廃地	計	備 考
水 田	2 0 0 a	1 5 0 a	3 5 0 a	プランの中での私の集積面積 192a
畑	8 0 a	8 5 0 a	9 5 0 a	プランの中から私の集積面積 581a
計	2 8 0 a	1, 0 0 0 a	1, 2 8 0 a	

芝管理作業表(現状機械 219a 9圃場 実績より)

	使 用 機 械		作業能力	実際の作業量	栽培面積	作業必要日数
	機械名	型 式				
頭刈り	芝刈機	LM 80	20a/H	130a/日	219a	3.4日
カス処理	スィーパー	LS 808D	20a/H	130a/日	219a	3.4日

可能能力(午前中 頭刈り 午後 カス処理を基準)

作業量 130a/日×1/2(半日)=65a 219a÷65a=3.4日



1週間の作業日数の4.6日でも389aまでしか可能能力はない。  
 (年間作業表のとおり4月～9月の間は1週間に1回の作業が必要であるためこの時期の作業可能日数率が66%なので4.6日/7日の作業日数となる)

芝管理作業表(導入予定機械 800a)

	使用機械		作業能力	実際の作業量	目標栽培面積	作業必要日数
	機械名	型式				
頭刈り	芝刈機	LM180C	40a/H	192a/日	800a	4.2日
カス処理	ローンスーパー	LS950HD	40a/H	190a/日	800a	4.2日

目標年の芝の作業面積は8ha、これを6月から9月にかけては1週間に1回、芝の頭刈り及び頭刈り後の集草が必要なので1日に1.14ha、天候を考慮したら1日に1.74haの作業が必要となる。半日で頭刈り、半乾燥したものを午後に集草するため、4時間で1.74haを刈り取り及び集草する能力の機械が必要である。

可能能力(午前中 頭刈り 午後 集草処理を基準)

4時間の作業量はキャリアカー輸送すれば実働作業量 190a/半日確保できる。